

ちょっと気になるデータ解説

有期契約労働者の契約の状況

改正労働契約法(労契法)の2013年4月施行(一部を除く)後に行われた、法改正を踏まえた個人調査としては、連合が同年9月に実施した「有期契約労働者に関する調査」(1)がある。ここでは、その調査結果から、有期契約労働者の法改正に対する認識の度合い、改正内容に対する意識などをみてみたい。

調査では、対象である有期契約労働者に労契法の改正内容を説明したうえで、ルールの変更とその内容について知っていたかどうかを聞いている。改正のポイントである「無期労働契約への転換」(2)について、「ルールの内容まで知っていた」は12.2%、「ルールができたことは知っているが、内容までは知らなかった」は24.4%だった。連合は両者を合わせた36.6%を認知率としている。これに対して、「ルールができたことを知らなかった」は63.4%にのぼった。

また、期間の定めがあることにより有期契約労働者と無期契約労働者間で労働条件を相違させることの禁止(3)について、「内容まで知っていた」は6.3%で、「できたことは知っているが、内容までは知らなかった」を合わせた認知率は30.1%にとどまった。「知らなかった」は69.9%に達した。

調査対象者に「改正労契法の“無期労働契約への転換”についての考え・気持ち」を聞いた結果は、設問で示された「無期契約に転換できる可能性があるのでモチベーションアップにつながる」に対して、「そう思う」が51.6%（「非常にそう思う」15.8%+「ややそう思う」35.8%）と半数を超えたものの、「無期契約に転換できると、待遇もあがる可能性がある」に対しては18.3%（「非常にそう思う」3.3%+「ややそう思う」15.0%）に過ぎなかった。

これに対し、「契約期間が無期になるだけで待遇が正社員と同等になるわけではないから意味がない」に「そう思う」と答えた人は68.7%（「非常にそう思う」25.0%+「ややそう思う」43.7%）に達した。また、「有期契約労働者の給与など労働条件の悪化につながる」が36.2%（「非常にそう思う」8.2%+「ややそう思う」28.0%）、「契約更新して働き続ける可能性が狭まる」が32.4%（「非常にそう思う」8.9%+「ややそう思う」23.5%）と、懸念の意識も示されている。

調査ではさらに、「最近の労働契約の条件変更の状況」について、有期労働の契約期間の変化を聞いている。「これまで契約期間に上限がなかったが、新しい契約では期間に上限が設けられた」ことが「あった」と答えた割合は調査対象者の11.9%となった。

また、「これまでよりも短い期間での契約を求められた」ことが「あった」のは6.2%だった。これに該当する回答者を性・年齢別にみると、女性では20歳代で7.1%、30歳代以降では各層で6%を下回っている。ところが男性では、30歳代で14.5%、40歳代で12.0%と一割を超え、すべての年齢層で(50歳代9.1%、20歳代6.7%)全体平均を上回っている(表1)。

今回の調査対象者が「有期契約で働くことになった状況」については、「自ら進んで」、「正社員になれなくて」という二つの状況を示し、どちらの状況に近いかを聞いている。「自ら進んで」に近いと答えた人は51.0%（「近い」33.4%+「やや近い」17.6%）であったが、「正社員になれなくて」に近いとした人も35.1%（「近い」18.2%+「やや近い」16.9%）にのぼっている(他に「どちらともいえない」13.9%)。

さらに「今後の働き方の希望」について同様に聞いたところ、「このままでよい」に近いとした人は37.5%（「近い」22.8%+「やや近い」14.7%）だったのに対し、「正社員になりたい」に近いとした人は40.7%（「近い」21.8%+「やや近い」18.9%）となっている(他に「どちらでもない」21.8%)。とくに前問で「正社員になれなくて」と答えた人(全体の35.1%)に限ると、「正社員になりたい」の割合は、73.5%（「近い」48.1%+「やや近い」25.4%）と高くなっている(表2)。

- (1) 2013年9月に実施された、調査会社のモニターを対象とするインターネット調査。週20時間以上労働する民間企業の有期契約労働者(契約社員・パート・アルバイト)で、年齢層20～50歳代、男性250人、女性750人の合計1000人を対象としている。
- (2) 有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときに、労働者の申込みにより、無期労働契約に転換できるルール(労契法第18条)。
- (3) 「不合理な労働条件の禁止」(労契法第20条)。

(調査・解析部主任調査員 吉田和央)

表1 最近の労働契約の条件変更などの状況 「これまでよりも短い期間での契約を求められた」割合 単位:%

全体 [n=1000]	男性				女性			
	20代 [n=90]	30代 [n=55]	40代 [n=50]	50代 [n=55]	20代 [n=155]	30代 [n=205]	40代 [n=270]	50代 [n=120]
6.2	6.7	14.5	12.0	9.1	7.1	3.9	4.1	5.8

資料出所: 連合「有期契約労働者に関する調査」

表2 今後の働き方の希望 設問 [A このままでよい] と [B 正社員になりたい] ではどちらに近いか 単位:%

		Aに近い	ややAに近い	どちらともいえない	ややBに近い	Bに近い
全体 [n=1000]		22.8	14.7	21.8	18.9	21.8
有期契約労働者に なった状況	自ら進んで [n=510]	40.4	21.0	20.4	12.2	6.1
	正社員になれなくて [n=351]	2.8	7.4	16.2	25.4	48.1

資料出所: 連合「有期契約労働者に関する調査」